



第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

ロータリーは
機会の扉を開く

令和2年11月9日(月) 第14回 通算第1578回例会

会長 黒澤 信之
幹事 佐藤 慶行

クラブ奉仕委員会
委員長

高橋 智弘

会報・雑誌・広報・
IT小委員会委員長

根本 いずみ

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店内9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第14回例会 点鐘12:30

- ◇開会点鐘 黒澤 信之 会長
 - ◇国歌斉唱、ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 高橋 智弘 会員
 - ◇「四つのテスト」唱和
職業奉仕委員会代理 相澤 隆 会員
- 11月誕生祝い



- ・佐久間政文 会員 昭和23年11月12日生
- ・佐藤宗弘 会員 昭和38年11月18日生
- ・根本いずみ 会員 昭和41年11月29日生

◇会長あいさつ 黒澤 信之 会長

先週は、文化の日、祝日の週の為休会でしたので2週間のご無沙汰でございました。この間、吾妻山には初冠雪がありました。真っ白に雪化粧したあづまの山並みを目になさった方もいらっしゃったことと思います。そして先週土曜日は立冬。本格的な冬の到来に向け、今から、準備や健康管理を怠りなさいませようご注意くださいと思います。今日はまず、この二週間の間に行われたロータリー活動についてご報告をいたします。10月30日、クーラクーリアンテサンパレスにおいて、年始の合同新年会開催についての協議会が開催され、佐藤慶行幹事もども参加してまいりました。合同新年会において主幹を務められます、福島中央クラブさんが佐藤龍史会長を中心に、このコロナ禍にあって、どのようにすべきか、開催の可否を含め運営方法について今日まで熟慮を重ねて出した方針についての協議会です。ご存じの通り、合同新年会は福島市内8RCが一堂に会する例会抜きの会合ですが、本年に限っては参加総人数を150名に限定して開催するという方針です。各クラブの会員数に比して人数を割り当てる方式により当クラブには7名の参加枠が割り当てられました。当クラブとしては、会員数は少ないながら、日頃の例会出席率は他クラブより群を抜いて高いとの自負があり、この中から7名を選しなければならぬのは大変心苦しい限りですが、この非常事態下において、何とか継続開催し、感染予防にも万全を期す管理ができる体制で運営したいという熱意に水を差すことはできず、西クラブとしてこの方針に対する賛同の意思を表明してまいりました。追って参加依頼者の報告をさせていたきたいと思います。人選については恐縮ながらご一任くださいますようお願いいたします。なお、後日配信予定のYouTubeを視聴した方は例会参加扱いにできるとのことでしたので是非ご覧いただきたいと思っております。

次に、11月2日、理事会に先立ち次年度理事役員についての指名委員会を開催し、高橋智弘年度の理事役員候補者が選出されたことをご報告いたします。年次総会にて皆様にお諮りすることとなりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。また、その後の理事会で承認された主な議題の中から2つほど皆様にお知らせします。1つ目は野球用具の寄付についてです。少年野球大会の中止を受け地区補助金を利用して市内の中学校各校にキャッチャーマスクと打者用ヘルメットを寄贈する件ですが、教育委員会に打診し11月20日、教育長あてに贈呈することが決まりました。アポ取りに際しては、梅津一匡会員に並ならぬ御尽力をいただいたことを申し添

えます。ありがとうございました。2つ目は残念なお知らせです。先ほどの新年会の話と同様、当クラブ恒例のクリスマス夜間家族会の開催可否について協議いたしました。本年度はお子様やお孫様をお招きしての華やかでにぎやかなパーティーは見合わせ、メンバーとごご夫人だけに参加を限定した年忘れ夜間例会を開催させていただくこととなりました。我が家のやんちゃ盛りをはじめ、年に一度のこの機会を楽しみにしていたお子様もいらっしゃると思いますが、今年に限っては、どうか各ご家庭において、楽しいクリスマス企画をご検討くださいますようお願いいたします。さて、本日はクラブ協議会を開催いたします。ここで改めて、ロータリー百科事典によりますと、「クラブ協議会」はクラブのプログラムと活動について協議するため、または新会員の入会の為に開かれる、クラブ役員、理事、委員会委員長を含む会員全員の会合と定義されており、次の5つの事項が可能になります。

- 1) 長期計画
- 2) 委員会活動の調整
- 3) クラブの計画が実際にいかにして実施されているかのより良い認識
- 4) ロータリーとそのプログラムに関する継続的な教育
- 5) クラブの長所と短所の定期的な検討

また、討議の議題には、奉仕プロジェクトや奉仕活動、会員増加、退会防止の方策、地区大会やその他の地区およびRIの会合への出席、ロータリーのプログラムなどのほか、自由討論の機会を含めることができる。と書かれています。本日の協議会は会員増強をテーマとして討議していただきたいと思っておりますので是非、忌憚なく、闊達なご意見交換の機会としていただきますようお願いし、会長挨拶とさせていただきます。本日もよろしくようお願いいたします。

◇幹事報告 佐藤 慶行 幹事

○例会変更のお知らせ

・当クラブ次週16日(月)の例会は、新そばを食する夜間例会となっております。午後6時30分より峰亀にて開催となりますので、よろしくようお願いいたします。

・当クラブ、23日(月)の例会は、祝日のため休会となります。

○その他のお知らせ

・今週14日(土)は県北第一分区分区インターシティミーティングとなります。13時30分登録開始14時開会点鐘、会場はエルティになりますので、よろしくようお願いいたします。

・11月ロータリーレートは1ドル104円となりますのでお知らせ致します。

・11月8日に開催を予定しておりました米山奨学生による体験発表会は郡山市のコロナ感染拡大が懸念されていることから中止となりましたのでご報告いたします。

・本日、小型会員名簿を配布しております。どうぞご利用ください。

委員会報告

◇出席・スマイリングBOX小委員会 高橋 智弘 委員長

○黒澤信之会長＝今日はクラブ協議会を開催します。宜しくお願いいたします。

○根本いずみ会員＝誕生日に歌でお祝いしていただけることは、いくつになっても嬉しいです。

○梅津一匡会員＝日々全集中の呼吸でがんばっております。

○宮崎秀剛会員＝本日もお世話になります。宜しくお願いいたします。

——クラブ協議会によせて——

○佐藤慶行 会員 ○相澤 隆 会員 ○大平謙一郎 会員

○久米允彦 会員 ○野尻榮一 会員 ○高橋智弘 会員

本日のスマイリングBOX集計10件 20,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇会報・雑誌・広報・IT・小委員会 根本 いずみ委員長
*「友」11月号紹介



横組P3 【RI会長メッセージ】
国際ロータリー理事会はロータリーがより多様な人々を迎え入れられるよう行動し始め、クラブが性別、人種、信仰、年齢などにかかわらず、どんな新会員にとっても魅力を感じられるように、多様性、公平さ、開放性を促進するタスクフォースを設立しました。2022-23年度RI会長に、初の女性リーダーとして、ジェニファーE. ジョーンズさんが選出されたのも、この流れに沿っています。今回は、カナダ・ブリティッシュコロンビア州サレー・ニュートン・ロータリークラブの元会長であるアリア・アリさんの話を紹介します。人種差別や偏見といったものは、どの国にも、どの街にも、どの人の心にも存在します。どうすればそれらをなくすことができるでしょうか。私は多様性・公平性・包括性を伝えるコンサルタントとして、共感に基づいて皆に力を与え、皆を魅了する組織の文化づくりを手伝っています。他人のことを自分のこととして考えることができれば、偏見はなくなります。どの子どもも自分の子どものように、どの人も自分の家族のように思うことができれば、世界は違った形で見えてきます。共感というレンズを通して「四つのテスト」を実践していきましょう。国際大会がイスラム教のラマダンの最中に開催された時、私はロータリーと信仰のどちらかの選択を迫られて苦悩しました。私はこう思ったのです。「ロータリーではみんなにとって公平で、みんなのためになるようにと言っているのに、その中にイスラム教徒である私は含まれないのだろうか」「国際大会がキリスト教のイースターの最中に開かれることなどあるだろうか」と。厳しい問いを自分たちに突きつけてこそ、私たちはより包括的となり、より多様なロータリーの創造に着手することができます。ロータリーはすでに多くの人々を世界中で結び付けています。人々の思いやりと止まることのない支援、そして理想を現実に変えていく力こそ、私が望むロータリーの未来の姿です。

P18~27 【特集】新型コロナウイルス感染症の影響に関するアンケート調査結果を2回に分けて掲載する1回目は「どうなった? 例会」。例会の開催状況、会合形式などについて、クラブからのコメントの抜粋と共に紹介します。

1. 例会への影響 ①休会した97.2% ②休会した時期、3月上旬が最多。③例会の再開について、元通り70.4%、回数減で再開27.9%、いいえ1.7% ④A. 例会再開時期、6月上旬が最多。B. 未使用となった例会開催費用の活用方法について、クラブ会計に保留や新型コロナウイルス対策の活動に充てた、という回答が多数。
2. ①通常例会とは異なる会合形式を行った37.3% ②方法では、オンライン形式78.1% ③B. オンライン形式に対する会員の評価、おおむね肯定的86.6% C. 収束後もオンライン例会を開催すると思う46.5%
3. 例会の感染予防対策では、ソーシャルディスタンスを保つ、マスク着用、消毒・除菌といったものが多数。その他、オンライン例会の良い点は「会員相互のコミュニケーションが図れた。」(福島21RC)、悪い点は「スマイルボックスが上がらない。」(二本松あだたらRC)、感染予防対策で「通常よりも会場費のコストがかかる。」(いわき小名浜RC)といったコメントがありました。

P46 指定記事

【台北国際大会】「郷に入っては・・・」と題して、台湾の人々は、おもてなしの心と親しみやすさを自負しています。国際大会で台北を訪れ、地元のロータリアンと交流する時のために、エチケットを伝授しましょう。
・台湾のビジネスシーンでは握手が一般的になっていますが、会釈をしてもよいでしょう。
・台湾の文化では食が重要なため、「食事はもう済ませましたか?」というのがあいさつになっています。食事に誘われたら勧められたものを食べましょう。
・台湾の人々は乾杯するのが大好き。グラスを手に誰かが近づいて「干杯(カンペイ)」と言われたら飲み干しましょう。お茶やソフトドリンクでも問題ありません。

P46 指定記事

【ロータリー財団管理委員長からのメッセージ】「財団を通じて未来に投資しよう」グローバル補助金について、2013-14年度の導入時に、財団は総額4,700万ドルを超える868件の事業に補助金を出しました。2019-20年度には、1,350件、1億ドルを超える総額を授与するまでに拡大しました。しかし、補助金の件数は50%増加し、金額は123%増えました

が、年次基金への寄付はわずか5%しか増えていないという問題があります。私たちが必要とする人々に救いの手を差し伸べ、財団がもたらす愛を広めるためには、必要な資金を集めるために力を合わせなければなりません。世界中の地域社会によりよい未来をもたらすために投資するなら、ロータリー財団はよい選択肢です。

横組P23 【ロータリーアットワーク】「ロータリーの絆がたぐい災害復興支援」(須賀川IRC) 7月の豪雨で被害を受けた熊本県の人吉市社会福祉協議会に、クラブが送料を負担して、須賀川市社会福祉協議会提供の水はけブラシや幅の広いデッキブラシなどの支援物資を届けました。これらの支援物資は昨年10月の台風19号により須賀川市内が大きな被害を受けた際、姉妹クラブの高槻東RCを中心とした大阪府のクラブから寄せられたもの一部です。高槻東RCと人吉RCと親交があった縁で、各クラブが橋渡し役を務めました。

◇本日のプログラム——クラブ協議会

黒澤信之会長
ただいまからクラブ協議会を開催いたします。会長挨拶の続きとなりますが、ロータリー百科事典によりますと、クラブ協議会は年間4回から6回の開催が推奨されておりますが各クラブの予定によっても異なるとのことで、今年度は初めての開催となります。何とかあと3回は折に触れ開催してまいりたいと思いますが、初回の本日は会員増強を協議会のテーマにさせていただきます。毎年のようにその年度の会長は会員増強を年度目標として掲げてまいりました。が、現実はいわゆるじわりと減少が続いています。本年度、石黒ガバナールもワンイシュー、一大命題として会員増強と会員基盤・クラブ基盤の向上をにかけております。私ももちろん会員増強を第一の目標に掲げ一会員一推薦と呼びかけています。複数の方から候補者の情報をお寄せいただいておりますが推薦用紙に記入いただいた例は私も含めてゼロで、宮崎さん入会以降は増強が進められておりません。今日の機会に、まずは、心当たりのある方は用紙への記入を是非お願いします。それをリストにしてクラブ全員で情報を共有することが会員拡大への第一歩と思っておりますのでよろしくお願いします。そのうえで、本日お座りいただいているテーブルごとに、お手元のペーパーを参考に討議していただきたいと思っております。

討議にあたってはリーダーを中心にペーパー記載の内容に限らず自由な意見をお寄せいただき書記さんには恐れ入りますが議事メモを作成いただきたいと思っております。限られた時間ですが、ぜひ仲間を増やせるよう、忌憚ないご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。それでは、各テーブルごとに討議を始めてください。

クラブ協議会ご意見

下記メンバーに分かれ、グループディスカッションをした

- ①相澤隆・高橋智弘・齋藤武二・佐藤慶行
- ②久米允彦・大平謹一郎・梅津一匡
- ③野尻榮一・根本いずみ・宮崎秀剛・黒澤信之
- 会員拡大が進まない原因は何ですか。
 - ・人と繋がる機会が減っている
 - ・ジェネレーションギャップを感じる。ロータリーに入会しなくとも奉仕はできると言われた
 - ・誘いたい人がいない
- 候補者に対してはどうアプローチするのが良いですか。
 - ・ゲストに来た方には積極的に入会をフォローする(紹介者任せにはしない)
 - ・過去に籍されていた会員のお子さんなどに声掛けしてみたらどうか
 - ・一本釣りで直接お願いをしてみてもどうか
 - ・入会をお勧めする際には、一人ではなく親しい方二人以上をセットで勧めてはどうか
- その他会員増強に対してご意見
 - ・情報共有のため候補者の洗い出しをする
 - ・現在、アプローチをしている方が1名いるので、ゴルフ等何かのイベントの際にはお誘いしてみる
 - ・会員推薦用紙が一人歩きしてしまうと危険である。ある程度、話をしてから配布する方が良いのではないかと

◇閉会点鐘

※会報カメラ担当

黒澤信之会長

根本いずみ会員

